



ちばりは ニュース

2017年2月 発行 第27号

千葉県千葉リハビリテーションセンター 広報誌



〒266-0005
千葉市緑区誉田町1-45-2
TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857
ホームページアドレス
<http://www.chiba-reha.jp/>

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

理念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

・私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します・

基本方針

利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。

日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。

地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。

千葉リハ海外研修 in LONDON



当センターでは一昨年から、職員の海外研修を実施しており、今年度も8名の職員を派遣しました。2回目の実施となった今回の研修の行き先はイギリスの首都ロンドンです。どのような経験を得たのでしょうか。



今回のロンドンへの海外研修は、当初は27年度に計画されていましたが、出発直前にフランス同時多発テロ事件が発生したことで急遽中止となっしまい、再チャレンジとして2年越しでの実施となりました。

この研修では、メンバーの希望を元に視察先を選びました。前年度から予定していた視察先から一度は断られてしまい、職員の熱意が通じて出発の3日前にようやく視察受入の了解を頂くようなドラマもありましたが、最終的には高次脳機能障害者の支援施設、脳卒中の急性期病棟、回復期リハ病棟、小児リハ施設や小児のホスピスと、多くの病院・施設を視察することが出来ました。日本とは異なるイギリスの医療制度の下で、現地の病院や福祉施設がどのように運営され、国民からどのように評価されてきているのか視察してきました。

イギリスの医療制度とは？

イギリスの国民保健サービスはNHS (National Health Service) と呼ばれ、日本とは異なり税金を財源に運営されています。国民は保健医療サービスを原則無料で受けることができますが、利用の際はまず予め登録した「かかりつけ医」に必ずかからなければならない、日本のように患者が病院を選べないという一面もあります。



日程：平成28年10月16日～22日（5泊7日）
視察先：7ヶ所
参加メンバー（計8名）
医師1名、理学療法士2名、心理発達治療士1名
看護師1名、生活援助員1名、生活支援員1名、事務1名



高次脳機能障害者支援施設

Headway East London



通所施設にて、当事者ボランティアにお話を伺い、プログラムを体験させて頂きました。

Oliver Zhangwell Centre



脳損傷による障害を受け入れられるよう集中的な訓練を行います。リアルな体験を通したアプローチが印象的でした。

脳卒中急性期病棟

St George's Hospital



病院間の連携によって、発症から回復期まで一貫した支援システムが作られていました。

回復期リハ病棟

Queen Mary Hospital



療法士が装具の製作や注射を行えるなど、先進的な取り組みが行われていました。

The Wellington Hospital



英国最大規模のプライベート病院（NHS制度外）です。最先端の機器を用いたリハビリが行われ、盛んな研究活動で世界規模のネットワークを築いていました。

小児ホスピス

Noah's Ark Children's Hospital



施設は建設中でしたが、施設のコンセプトや、小児の緩和ケアについて学ぶことが出来ました。

小児リハ施設

London Bobath Centre



憧れの施設の見学ということで、熱意の余り予定していた時間を超過してしまいましたが、快く対応して頂きました。

報告会の様子



訪問先ごとに、設備や実際に行われているプログラムを見学し、視察先の職員の方々との質疑応答によりさらに理解を深めました。千葉リハと同様の考え方でサービスが提供されている部分については自信を得ることが出来た一方で、日本で腐心している「多職種協働」がイギリスでは当たり前とされていたことなど、視察した全ての病院・施設で新鮮な体験がありました。

現地で得た経験や知見は、帰国後に「海外研修報告会」を開催し、早速、センターの他の職員に還元しています。

センター運営懇談会を実施しました

昨年11月28日(月)に「千葉リハビリテーションセンター運営懇談会」を実施しました。この運営懇談会は、年1回、センターが利用者の皆様のニーズに沿った質の高いサービスを提供するために、直接ご意見をお伺いするもので、今回で11回目の開催となりました。この日は利用者の皆様からは9団体12名にご参加頂き、センターからは幹部職員が出席しました。



最初に吉永センター長より、センターの概要と、現在取り組んでいる事項について説明し、その後は出席者の皆様よりご意見・ご要望を頂戴しました。この日はセンターにおける防犯・災害対策についてのご質問や、センターで提供するサービスの内容や設備などに関するご要望・ご意見を頂き、その一つ一つについて、職員との意見交換を行いました。当日頂きましたご意見や、センターのご意見箱・利用者アンケートに寄せられた利用者の方のご意見は今後のセンター運営に活かして参ります。

ジェフユナイテッド千葉 選手訪問

1月13日(金)、サッカーJリーグのジェフユナイテッド千葉の選手・スタッフの皆様にご訪問頂きました。今回の訪問はジェフが毎年この時期に行っている施設訪問活動の一環であり、当センターには町田也真人(やまと)選手と大野哲煥(ちよるふあん)選手の2選手と4名のスタッフの皆様にご来所頂きました。

MF 背番号10
町田 也真人選手



GK 背番号31
大野 哲煥選手

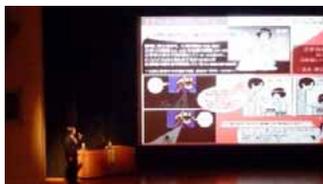


大ホールで行われた交流会では、まず実際に今シーズン使用する試合球を使ったリフティングで華麗なテクニックを披露していただき、その後は利用者の皆様との交流や、一緒にアトラクションも楽しみました。交流会の最後には両選手のサインが入ったチームフラッグを贈呈頂き、皆で記念撮影も行いました。さらに、愛育園の病棟にも足を運んで頂き、入所者の一人ひとりとお写真を撮りました。町田選手、大野選手のお二人には、シーズン前の大事な時期にもかかわらず、気さくにサインや写真撮影に応じて頂き、利用者の皆さんのみならず、センター職員も大興奮のひとつきでした。今シーズンのJ2リーグは2月26日開幕です。町田選手、大野選手のご活躍を期待しています！



第13回高次脳機能障害リハビリテーション講習会（ご報告）

平成29年1月28日（土）千葉市文化センターにおいて、第13回高次脳機能障害リハビリテーション講習会を開催しました。前半は、柏駅前なかやまメンタルクリニック高次脳外来医師 梶間剛先生の「**脳画像でみる高次脳機能障害の診断と治療判定効果**」のご講演で、内科・精神科・リハビリテーション科医師として、高次脳機能障害・発達障害・認知症を脳画像とイラストで分かりやすく説明頂きました。後半のシンポジウムでは、「**生活を支えるこれからの高次脳機能障害支援**」をテーマに地域生活期に必要な支援について討論を行い、特に、医療と福祉の関わりの難しさについては、支援する各ステージの担当者の顔が見える横の繋がりの必要性が共有されました。



梶間先生の講演



シンポジウム

センター案内図



第10回千葉県地域リハビリテーションフォーラム（ご報告）

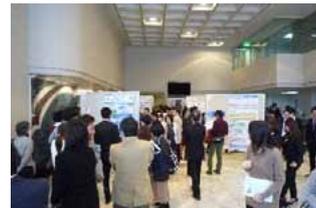
平成29年1月14日（土）千葉市文化センターにおいて、「**これからの地域リハビリテーション**」をテーマに第10回千葉県地域リハビリテーションフォーラムを開催しました。

地域リハビリテーションは、障害のある全ての人々や高齢者にリハビリテーションが適切に提供され、インクルーシブ社会を創生することを目標にしています。

今回は、これを達成するための「新しい地域リハの考え方と活動の方向性」について小倉リハビリテーション病院 浜村明德 名誉院長からご講演頂きました。また、シンポジウムでは県内の3市より地域リハ活動の取り組みの現状とリハ職への期待について意見交換をいたしました。また、ポスターセッションでは各地域での活動等23演題が発表され、参加者同士で積極的な情報交換が行われていました。



浜村先生の講演



ポスターセッション

車のご利用

- ・千葉東金道路 大宮インターから約10分
- ・京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

電車・路線バスのご利用

- ・JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約9分
- ・JR千葉駅東口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約40分（土曜・休日のみ）

無料送迎バスのご案内

平成26年8月1日改定

（センター JR 鎌取駅 循環運行）

JR鎌取駅北口発 千葉リハビリテーションセンター行き 千葉リハビリテーションセンター発 JR鎌取駅北口行き

時	平日	土曜日
8	10 30 50	10 30 50
9	10 30 50	10 30
10	10 30 50	20 40
11	10 30 50	00 20 40
12	10 30 50	40
13	10 30 50	
14	10 30 50	
15	10 30 50	
16	10 30 50	
17	10 40	

時	平日	土曜日
8	03 23 43	03 23 43
9	03 23 43	03 23
10	03 23 43	13 33 53
11	03 23 43	13 33
12	03 23 43	33
13	03 23 43	
14	03 23 43	
15	03 23 43	
16	03 23 43	
17	03 33	

センター送迎バス発着場所について
 鎌取駅発・・・鎌取駅北口ロータリー付近
 （専用のバス停はございません）
 センター発・・・センター正面玄関前
 車椅子ご利用の乗車定員について
 中型バス（黄色）・・・2名
 マイクロバス（水色）・・・3名
 日曜・休日は運休となります。
 道路混雑等により遅延する場合があります。